

平成23年度学校保健統計調査
福井県の概要
(速報)

平成23年12月

福井県総合政策部政策統計課

〒910-8580

福井市大手3丁目17番1号

電話 0776-20-0273 (直通)

0776-20-1111 (代表)

内線 2378 (人口・生活統計グループ)

福井県庁ホームページ <http://www.pref.fukui.jp/>

目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	
1 発育状態調査	
(1) 身長・体重・座高の状況	3
ア 身長	4
イ 体重	4
ウ 座高	5
(2) 身長・体重・座高の推移	6
ア 身長	6
イ 体重	8
ウ 座高	10
(3) 全国平均値との比較	12
ア 身長	12
イ 体重	14
ウ 座高	16
2 健康状態調査	
(1) 疾病・異常等の状況	18
(2) 主な疾病・異常等の推移	19
ア 裸眼視力1.0未満の者	19
イ 鼻・副鼻腔疾患の者	20
ウ むし歯（う歯）の者	21
エ アトピー性皮膚炎の者	22
オ ぜん息の者	23
3 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率	
(1) 肥満傾向の者	24
(2) 痩身傾向の者	25

留意事項

- この報告書は、平成23年度学校保健統計調査（文部科学省所管）について、福井県分の概要をとりまとめたものである。
- この報告書は、福井県ホームページの統計情報（<http://www.pref.fukui.jp/doc/toukei/>）にて掲載している。
- この報告書の数値は速報値であり、後日、文部科学省が公表する数値をもって確定値とする。
文部科学省が公表する報告書については、文部科学省ホームページ（http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm）で閲覧できる。
なお、東日本大震災により被害の甚大な岩手県、宮城県および福島県については、平成23年度は調査対象となっていないため、全国平均値に含まれていない。

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童、生徒および幼児（以下「児童等」という。）の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

県内の小学校、中学校、高等学校および幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（平成23年4月1日現在）までの児童等の中から次表に示す人数を抽出し、調査の対象としている。

調査実施校数および調査対象者数(福井県)

区分	平成23年5月1日現在(※1)		調査実施校		調査対象者数					
	学校数	在籍者数	学校数	割合	発育状態			健康状態		
					調査実施1校 当たりの対象人数	実調査 人数(※4)	割合	対象人数	実調査人数	割合
	a	b	c	d=c/a	e	f	g=f/b	h	i	j=i/b
校	人	校	%		人	%	人	人	%	
計	459	96,202	147	32.0		12,346	12.8	該調査 実施校 の児童 等に在 籍する 全員	58,497	60.8
幼稚園(※2)	125	2,124	29	23.2	男女別各 22人	809	38.1		1,049	49.4
小学校	209	45,879	57	27.3	年齢別男女各 8人	5,143	11.2		22,294	48.6
中学校	85	24,448	37	43.5	年齢別男女各 20人	4,324	17.7		17,268	70.6
高等学校(※3)	40	23,751	24	60.0	年齢別男女各 15人	2,070	8.7		17,886	75.3

※1 平成23年度学校基本調査による。学校数は分校も一校と計上している。

2 幼稚園の在籍者は5歳のみを計上している。

3 高等学校の学校数および在籍者には「通信制課程」を含まない。また、1～3学年のみの生徒数を計上している。

4 発育状態調査の実調査人数は、身長調査に係る実調査人数を計上している。

3 調査事項

- ① 児童等の発育状態 身長、体重、座高
- ② 児童等の健康状態 栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無、結核に関する検診の結果

4 調査期日

平成23年4月1日から6月30日までの間に実施した。

統計表中の符号について

- 「▲」 → 計数が負数の場合
- 「-」 → 該当者がいない場合
- 「0.0」 → 計数が単位未満の場合
- 「…」 → 調査対象とならなかった場合
- 「X」 → 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

調査結果の概要

1 発育状態調査

(1) 身長・体重・座高の状況

平成23年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の身長、体重および座高の福井県平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

また、各年齢の過去1年間の年間発育量は表2のとおりである。

表1 年齢別 身長・体重・座高の平均値

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)			座 高 (cm)		
		男子	女子	男女差	男子	女子	男女差	男子	女子	男女差
		A	B	A-B	C	D	C-D	E	F	E-F
幼稚園	5歳	<u>111.4</u>	109.4	2.0	19.1	18.3	0.8	62.4	61.3	1.1
	6歳	116.7	115.9	0.8	21.4	21.0	0.4	65.0	64.7	0.3
	7歳	122.9	121.6	1.3	24.0	23.3	0.7	68.0	67.4	0.6
小学校	8歳	128.6	127.4	1.2	27.5	26.4	1.1	70.7	70.2	0.5
	9歳	133.5	134.1	▲0.6	30.5	29.9	0.6	72.7	73.2	▲0.5
	10歳	139.1	141.0	▲1.9	34.0	34.3	▲0.3	75.2	76.4	▲1.2
	11歳	145.6	146.6	▲1.0	37.9	38.5	▲0.6	78.0	79.2	▲1.2
中学校	12歳	152.9	152.4	0.5	44.0	44.1	▲0.1	81.7	82.4	▲0.7
	13歳	159.9	155.6	4.3	49.5	47.2	2.3	85.2	84.3	0.9
	14歳	166.0	157.1	8.9	55.1	50.4	4.7	88.5	85.1	3.4
高等学校	15歳	168.4	156.8	11.6	58.9	51.4	7.5	90.6	85.7	4.9
	16歳	170.5	157.8	12.7	61.8	53.4	8.4	91.6	85.7	5.9
	17歳	171.3	158.2	13.1	<u>64.6</u>	53.2	11.4	92.2	86.1	6.1

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来最高の値であることを示す。

表2 年齢別 過去1年間の発育量

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	男子	5.5	5.9	6.3	4.7	5.3	6.7	7.1	7.4	5.5	2.8	2.1	1.4
	女子	6.0	5.1	5.1	6.4	7.2	6.4	5.7	3.1	1.5	▲0.5	0.4	0.4
体重 (kg)	男子	2.4	2.2	3.6	2.9	3.4	3.9	5.1	5.0	5.5	4.4	2.3	1.8
	女子	2.5	1.8	2.7	3.1	4.0	4.4	5.2	3.2	1.9	1.0	1.3	0.0
座高 (cm)	男子	2.9	2.7	3.1	1.9	2.2	2.8	3.3	3.7	3.1	2.4	1.0	0.4
	女子	3.0	2.3	2.3	3.0	3.4	3.1	3.1	1.9	0.9	0.3	▲0.1	0.0

※この数値はH23年度の数値からH22年度の1歳下の値を差し引いて算出したものである。

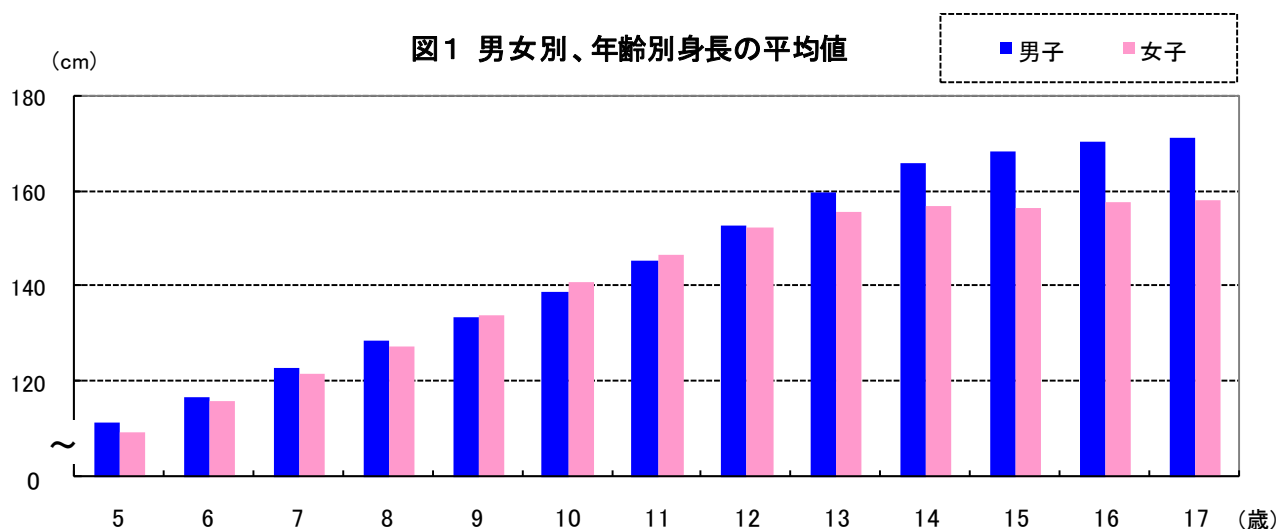
例) 17歳の発育量(身長) = H23年度の17歳(身長) - H22年度の16歳(身長)

ア 身長

男子の身長は、5歳（幼稚園）で111.4cmとなり過去最高値、11歳（小学校6年）で145.6cm、14歳（中学校3年）で166.0cm、17歳（高等学校3年）で171.3cmとなっている。年間の発育量は、13歳の7.4cmを最高に11歳から13歳にかけて大きくなっている。

女子の身長は、5歳で109.4cm、11歳で146.6cm、14歳で157.1cm、17歳で158.2cmとなっている。年間の発育量は、10歳の7.2cmを最高に9歳から11歳にかけて大きくなっている。

男女別で比較すると、9歳から11歳で女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。

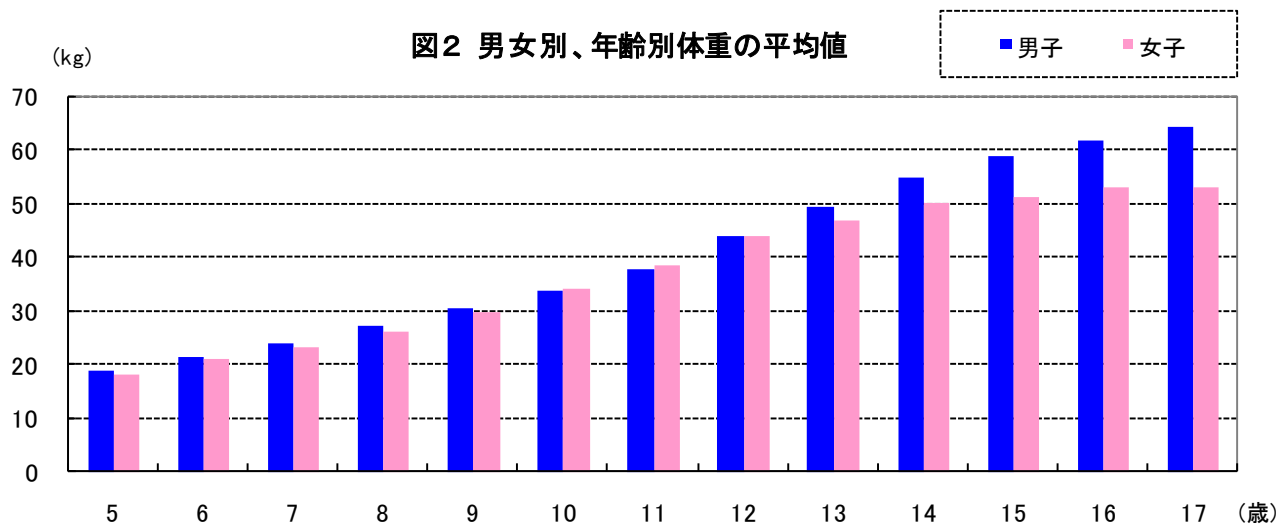


イ 体重

男子の体重は、5歳（幼稚園）で19.1kg、11歳（小学校6年）で37.9kg、14歳（中学校3年）で55.1kg、17歳（高等学校3年）で64.6kgとなり過去最高値となっている。年間の発育量は、14歳の5.5kgを最高に12歳から14歳にかけて大きくなっている。

女子の体重は、5歳で18.3kg、11歳で38.5kg、14歳で50.4kg、17歳で53.2kgとなっている。年間の発育量は、12歳の5.2kgを最高に10歳から12歳にかけて大きくなっている。

男女別で比較すると、10歳から12歳で女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。

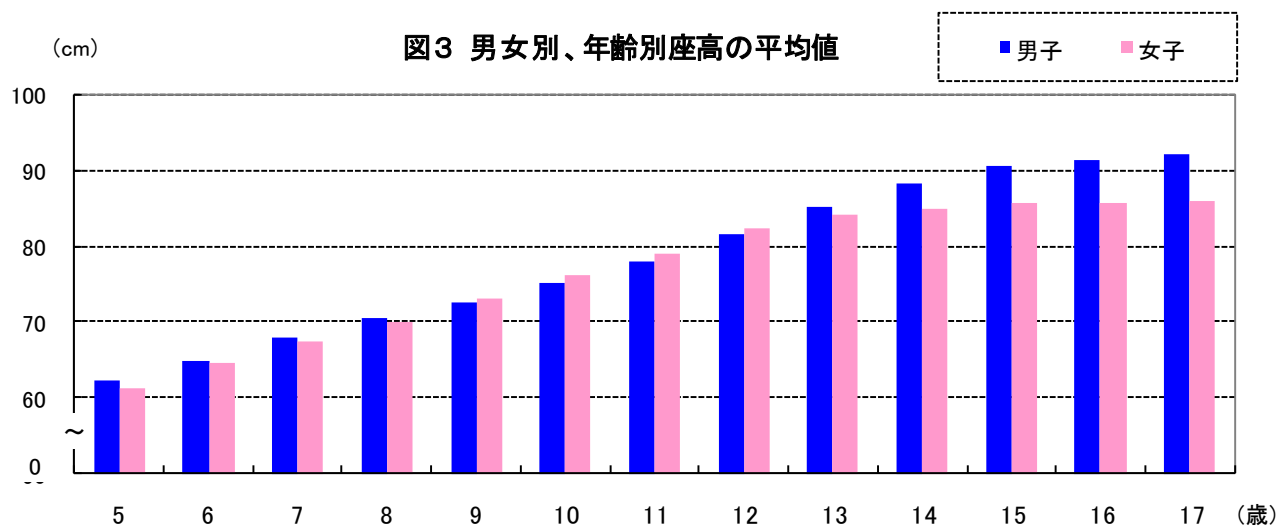


ウ 座 高

男子の座高は、5歳（幼稚園）で62.4 cm、11歳（小学校6年）で78.0 cm、14歳（中学校3年）で88.5 cm、17歳（高等学校3年）で92.2 cmとなっている。年間の発育量は、13歳の3.7 cmが最高となっている。

女子の座高は、5歳で61.3 cm、11歳で79.2 cm、14歳で85.1 cm、17歳で86.1 cmとなっている。年間の発育量は、10歳の3.4 cmが最高となっている。

男女別で比較すると、9歳から12歳で女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。



(2) 身長・体重・座高の推移

ア 身長

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表3のとおりである。

表3 男女別、年齢別 身長の推移

(単位：cm)

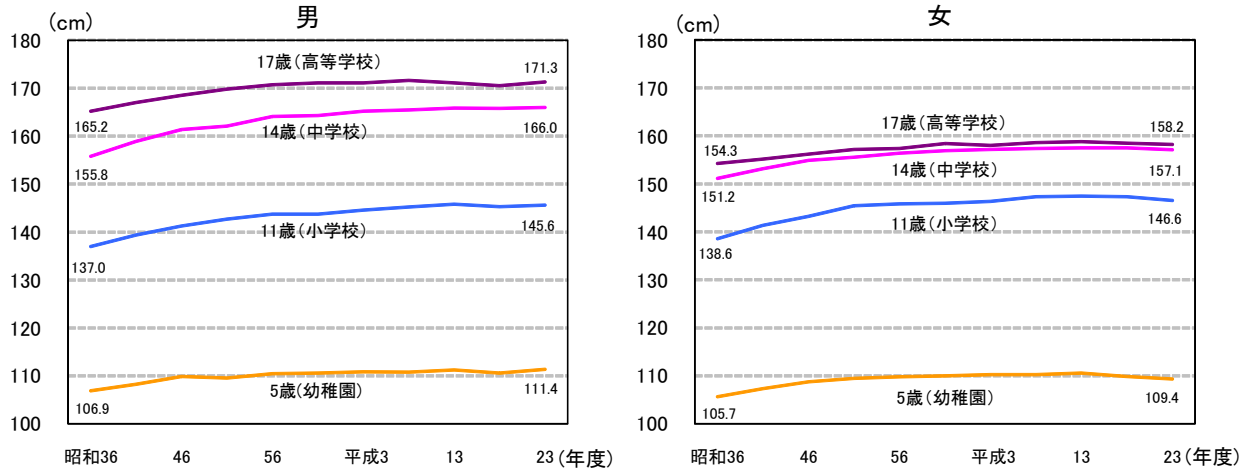
区 分			年 度							身 長 差				
			50年前	30年前	10年前	平成	平成	平成	平成	平成	現在と	現在と	現在と	
			昭和 36年度	昭和 56年度	平成 13年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	50年前	30年前	10年前	
			A	B	C				D	D-A	D-B	D-C		
男 子	幼稚園	5歳	106.9	110.5	111.3	111.0	110.5	110.4	111.2	<u>111.4</u>	4.5	0.9	0.1	
		6歳	113.0	116.0	116.5	116.7	116.9	116.9	117.0	116.7	3.7	0.7	0.2	
		7歳	117.6	121.7	122.5	122.2	122.8	123.0	122.3	122.9	5.3	1.2	0.4	
		8歳	122.9	127.0	128.4	128.4	<u>129.2</u>	128.5	128.8	128.6	5.7	1.6	0.2	
		9歳	127.4	132.6	<u>134.3</u>	133.9	134.1	134.2	133.8	133.5	6.1	0.9	▲ 0.8	
		10歳	132.0	137.7	139.2	139.3	139.5	139.1	138.9	139.1	7.1	1.4	▲ 0.1	
		11歳	137.0	143.7	145.8	145.6	145.3	145.3	145.8	145.6	8.6	1.9	▲ 0.2	
	中学校	12歳	142.3	150.1	153.0	152.6	152.9	152.7	152.5	152.9	10.6	2.8	▲ 0.1	
		13歳	147.6	158.3	<u>160.9</u>	160.6	160.6	159.9	160.5	159.9	12.3	1.6	▲ 1.0	
		14歳	155.8	164.1	165.9	165.4	165.6	165.3	165.6	166.0	10.2	1.9	0.1	
	高等学校	15歳	161.3	168.1	169.0	168.9	168.4	169.0	168.4	168.4	7.1	0.3	▲ 0.6	
		16歳	163.5	169.4	170.4	169.8	170.8	<u>171.0</u>	169.9	170.5	7.0	1.1	0.1	
		17歳	165.2	170.7	171.1	171.0	171.7	171.4	171.2	171.3	6.1	0.6	0.2	
	女 子	幼稚園	5歳	105.7	109.8	<u>110.6</u>	109.9	109.1	109.6	109.9	109.4	3.7	▲ 0.4	▲ 1.2
			6歳	110.8	115.4	116.4	115.8	115.7	115.8	<u>116.5</u>	115.9	5.1	0.5	▲ 0.5
			7歳	116.4	120.9	122.0	121.2	121.8	121.7	122.3	121.6	5.2	0.7	▲ 0.4
			8歳	121.7	126.6	127.7	127.9	127.5	127.7	127.7	127.4	5.7	0.8	▲ 0.3
9歳			126.7	132.1	134.2	133.4	134.1	134.1	133.8	134.1	7.4	2.0	▲ 0.1	
10歳			132.7	138.9	<u>141.4</u>	141.0	140.5	140.6	140.2	141.0	8.3	2.1	▲ 0.4	
11歳			138.6	145.9	147.5	146.9	147.4	146.9	146.7	146.6	8.0	0.7	▲ 0.9	
中学校		12歳	144.6	151.1	152.4	152.6	152.5	152.6	152.5	152.4	7.8	1.3	0.0	
		13歳	148.9	155.2	155.8	155.8	155.9	155.9	155.6	155.6	6.7	0.4	▲ 0.2	
		14歳	151.2	156.4	157.5	157.4	157.3	157.3	157.3	157.1	5.9	0.7	▲ 0.4	
高等学校		15歳	153.2	157.9	158.3	157.4	158.1	157.6	157.4	156.8	3.6	▲ 1.1	▲ 1.5	
		16歳	153.5	157.8	158.1	<u>158.7</u>	158.0	158.3	157.8	157.8	4.3	0.0	▲ 0.3	
		17歳	154.3	157.4	158.8	158.7	158.3	<u>158.9</u>	158.6	158.2	3.9	0.8	▲ 0.6	

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

各学校区分の最高学年の身長について、この50年間の推移をみると、男女とも全学年で伸びているが、近年の傾向をみると、男子はほぼ横ばい傾向、女子は減少傾向にある。

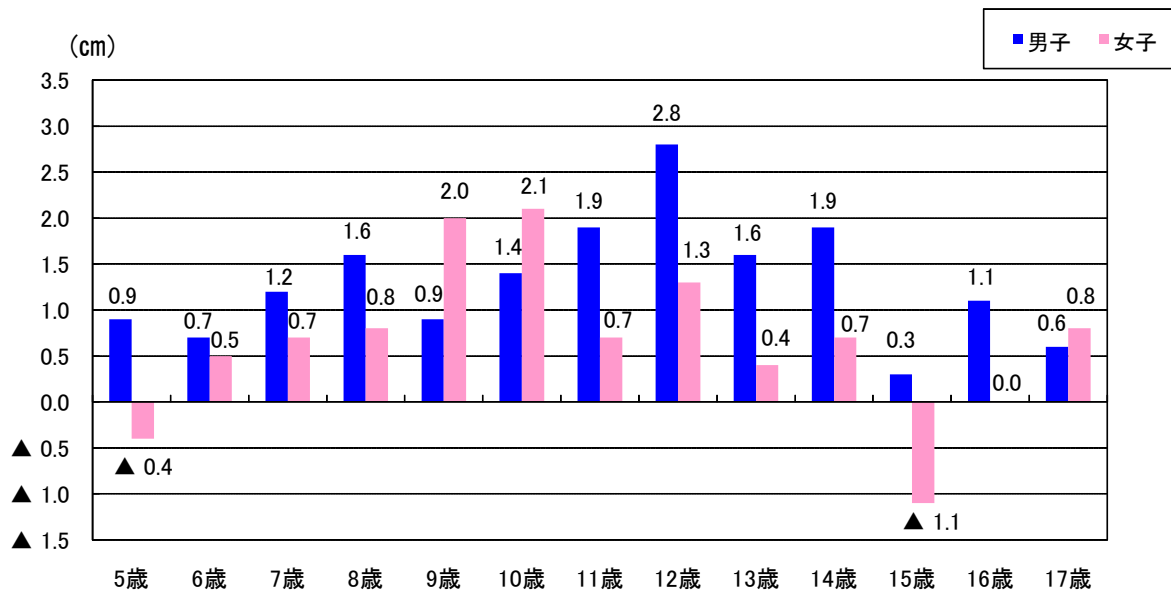
平成23年度と昭和36年度を比較すると、男子では5歳（幼稚園）で4.5cm、11歳（小学校6年）で8.6cm、14歳（中学校3年）で10.2cm、17歳（高等学校3年）で6.1cm、女子では5歳で3.7cm、11歳で8.0cm、14歳で5.9cm、17歳で3.9cm高くなっている。

図4 平均身長推移(昭和36年度～平成23年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和56年度調査値）との比較では、女子の5歳および15歳で子世代が親世代を下回っており、16歳では同値となっている。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の身長を上回っている。

図5 親子世代間の身長差(平成23年度調査値－昭和56年度調査値)



イ 体 重

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表4のとおりである。

表4 男女別、年齢別 体重の推移

(単位：kg)

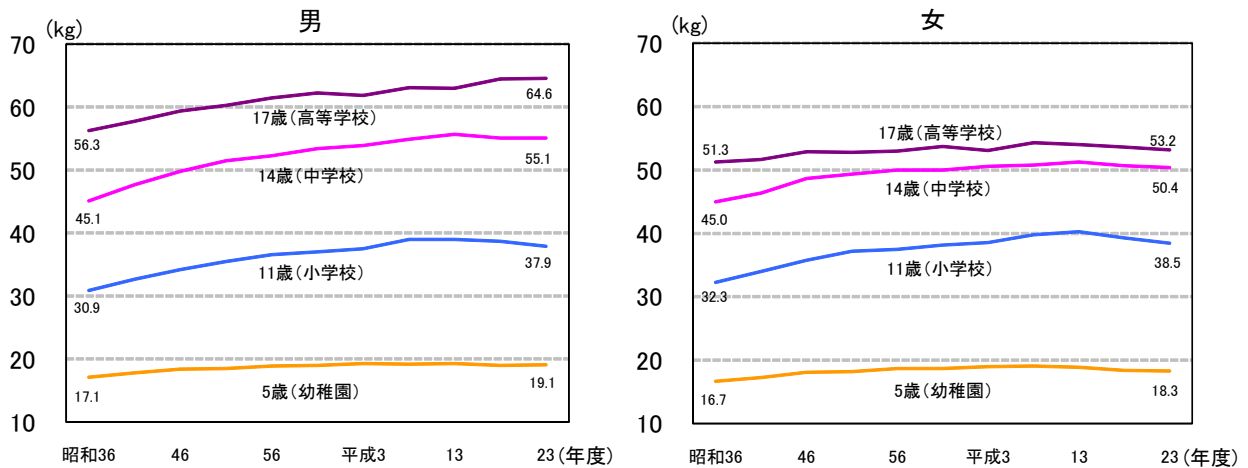
区 分			年 度							体 重 差				
			50年前 昭和 36年度 A	30年前 昭和 56年度 B	10年前 平成 13年度 C	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度 D	現在と 50年前 D-A	現在と 30年前 D-B	現在と 10年前 D-C	
男 子	幼稚園	5歳	17.1	18.9	<u>19.3</u>	19.0	19.0	18.8	19.0	19.1	2.0	0.2	▲ 0.2	
		6歳	19.0	21.1	21.3	21.5	21.5	21.6	21.8	21.4	2.4	0.3	0.1	
		7歳	21.1	23.4	24.2	24.2	24.4	24.5	23.9	24.0	2.9	0.6	▲ 0.2	
		8歳	23.4	25.6	27.6	27.6	27.7	27.6	27.6	27.5	4.1	1.9	▲ 0.1	
		9歳	25.5	29.0	<u>31.4</u>	30.8	30.8	30.9	30.6	30.5	5.0	1.5	▲ 0.9	
		10歳	28.1	32.5	34.8	34.6	34.1	34.0	34.0	34.0	5.9	1.5	▲ 0.8	
	小学校	11歳	30.9	36.6	39.0	<u>39.7</u>	38.5	38.0	38.9	37.9	7.0	1.3	▲ 1.1	
		12歳	34.6	41.0	45.5	44.2	44.8	44.1	44.5	44.0	9.4	3.0	▲ 1.5	
		13歳	39.9	47.1	50.4	49.4	49.5	49.1	49.6	49.5	9.6	2.4	▲ 0.9	
		14歳	45.1	52.3	<u>55.7</u>	54.1	55.0	54.0	54.5	55.1	10.0	2.8	▲ 0.6	
		高等学校	15歳	50.9	57.9	59.8	59.6	59.4	59.4	59.5	58.9	8.0	1.0	▲ 0.9
			16歳	54.4	59.5	62.3	62.2	<u>63.0</u>	62.2	62.8	61.8	7.4	2.3	▲ 0.5
			17歳	56.3	61.5	63.0	63.2	63.3	63.2	63.0	<u>64.6</u>	8.3	3.1	1.6
女 子	幼稚園	5歳	16.7	18.7	18.9	18.7	18.4	18.6	18.5	18.3	1.6	▲ 0.4	▲ 0.6	
		6歳	18.5	20.5	21.3	21.1	21.0	20.9	<u>21.5</u>	21.0	2.5	0.5	▲ 0.3	
		7歳	20.4	22.9	23.7	23.2	23.7	23.5	23.7	23.3	2.9	0.4	▲ 0.4	
		8歳	22.7	25.5	26.8	26.8	26.6	26.6	26.8	26.4	3.7	0.9	▲ 0.4	
		9歳	25.3	28.6	30.4	29.6	30.3	30.3	30.3	29.9	4.6	1.3	▲ 0.5	
		10歳	28.3	32.5	34.9	34.6	34.5	34.0	34.1	34.3	6.0	1.8	▲ 0.6	
	小学校	11歳	32.3	37.5	40.3	38.5	39.2	39.4	38.9	38.5	6.2	1.0	▲ 1.8	
		12歳	37.2	42.9	44.5	44.0	44.5	44.0	44.0	44.1	6.9	1.2	▲ 0.4	
		13歳	41.8	47.1	48.7	47.9	47.8	47.8	48.5	47.2	5.4	0.1	▲ 1.5	
		14歳	45.0	50.0	51.3	50.5	50.9	50.5	50.4	50.4	5.4	0.4	▲ 0.9	
		高等学校	15歳	48.2	52.5	52.7	51.3	52.6	52.0	52.1	51.4	3.2	▲ 1.1	▲ 1.3
			16歳	50.0	53.3	53.5	53.5	53.4	52.8	53.2	53.4	3.4	0.1	▲ 0.1
			17歳	51.3	53.0	54.0	53.5	53.6	53.5	53.7	53.2	1.9	0.2	▲ 0.8

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

各学校区分の最高学年の体重について、この50年間の推移をみると、男女とも全学年で増加しているが、近年の傾向をみると、男子は年齢によって傾向が異なるが、女子は減少傾向にある。

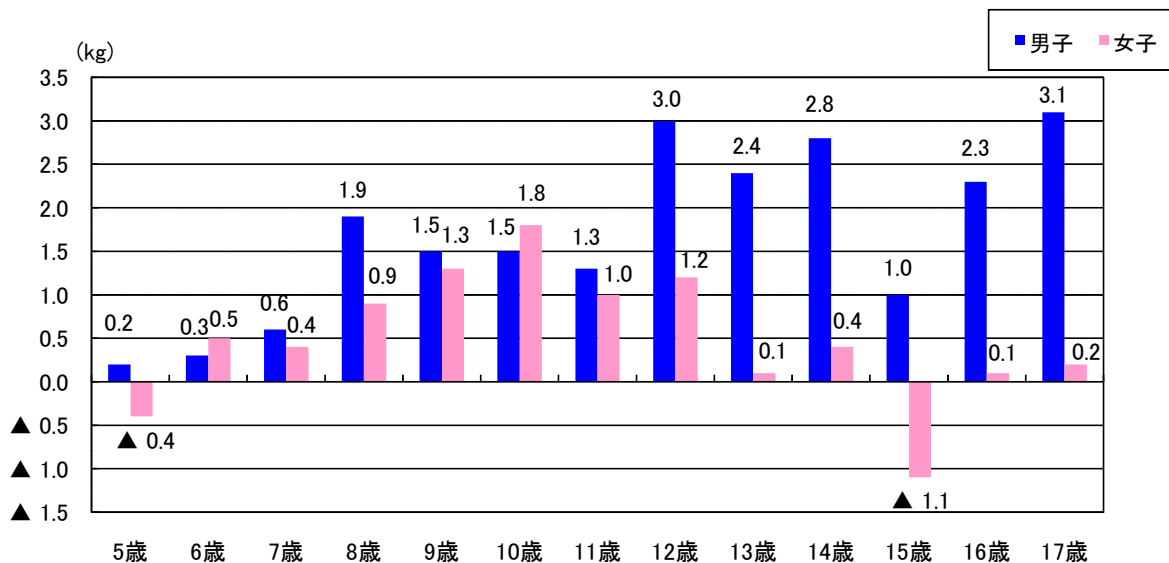
平成23年度と昭和36年度を比較すると、男子では5歳（幼稚園）で2.0kg、11歳（小学校6年）で7.0kg、14歳（中学校3年）で10.0kg、17歳（高等学校3年）で8.3kg、女子では5歳で1.6kg、11歳で6.2kg、14歳で5.4kg、17歳で1.9kg重くなっている。

図6 平均体重の推移(昭和36年度～平成23年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和56年度調査値）との比較では、女子の5歳および15歳で子世代が親世代を下回っている。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の体重を上回っている。

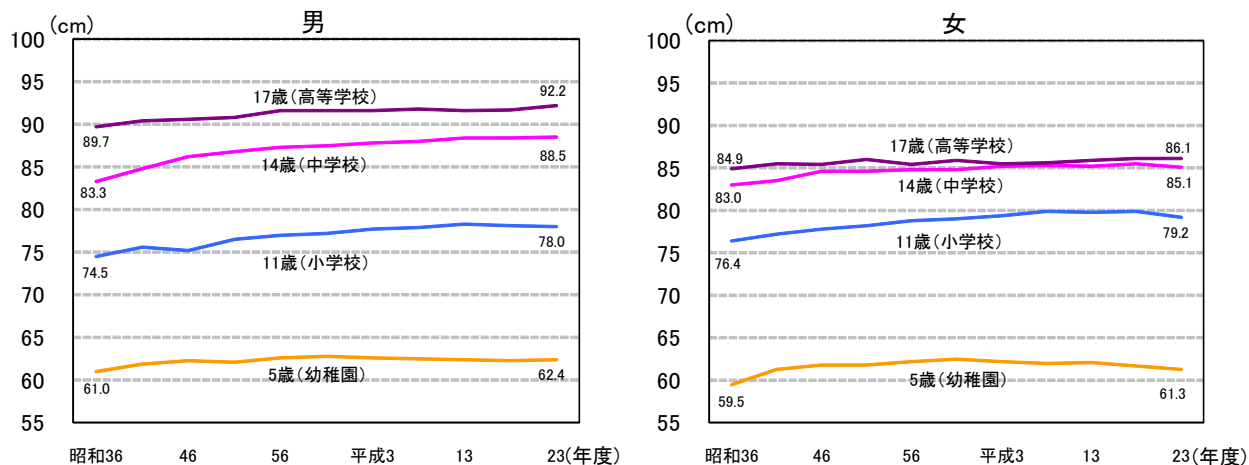
図7 親子世代間の体重の差(平成23年度調査値－昭和56年度調査値)



各学校区分の最高学年の座高について、この50年間の推移をみると、男女とも全学年で伸びている。近年は男女とも横ばい傾向にあるが、女子の低年齢層で減少傾向がみられる。

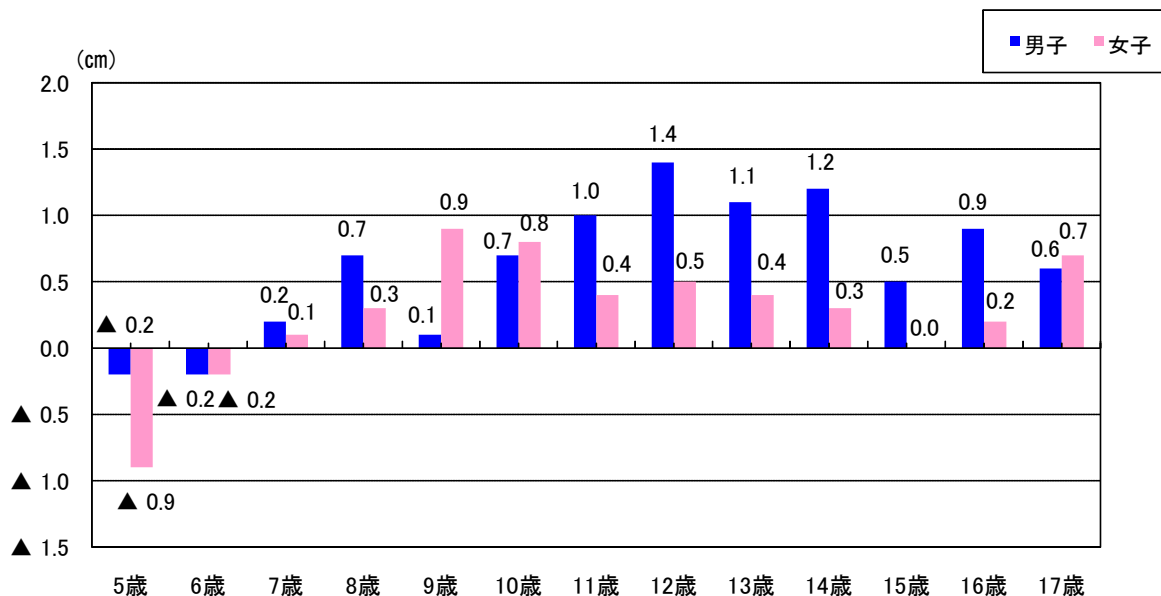
平成23年度と昭和36年度を比較すると、男子では5歳（幼稚園）で1.4cm、11歳（小学校6年）で3.5cm、14歳（中学校3年）で5.2cm、17歳（高等学校3年）で2.5cm、女子では5歳で1.8cm、11歳で2.8cm、14歳で2.1cm、17歳で1.2cm高くなっている。

図8 平均座高の推移(昭和36年度～平成23年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和56年度調査値）との比較では、男女とも5歳および6歳で子世代が親世代を下回り、女子の15歳では差がなかった。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の座高を上回っている。

図9 親子世代間の座高の差(平成23年度調査値－昭和56年度調査値)



(3) 全国平均値との比較

ア 身長

全国との比較では、男女ともほとんどの年齢で全国平均値を上回っている。

全国における順位は、男子の5歳が全国1位となっているほか、女子の13歳および14歳が全国3位となっている。

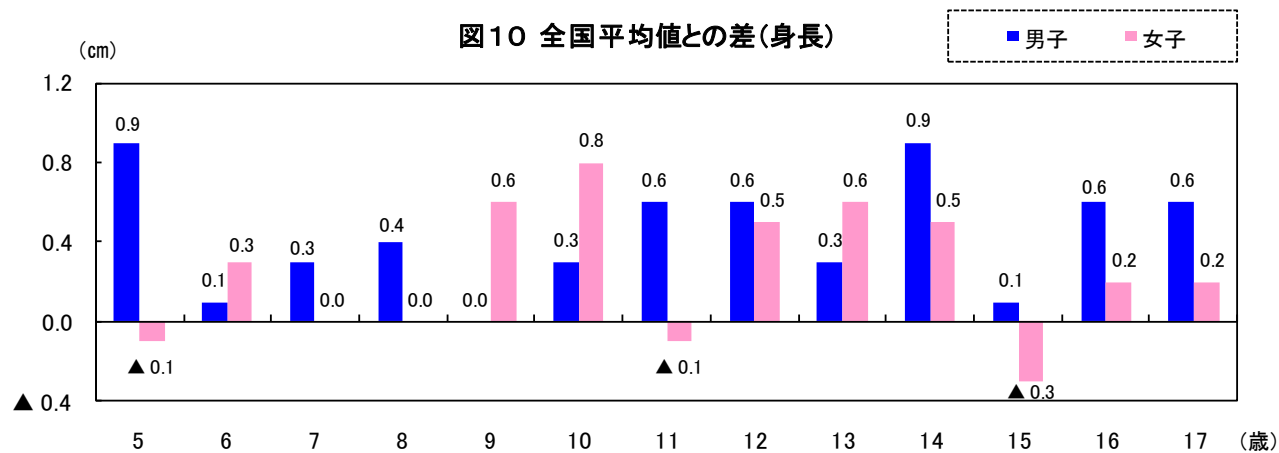


表6 本県の順位(身長)

(単位:cm、位)

区分		平成23年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		22年度	21年度
男 子	5歳	110.5	111.4	1	111.4	秋田県、福井県	109.6	沖縄県	6	30
	6歳	116.6	116.7	15	117.3	秋田県	115.9	愛媛県	8	12
	7歳	122.6	122.9	8	124.1	秋田県	121.4	沖縄県	32	6
	8歳	128.2	128.6	6	129.3	秋田県	126.8	沖縄県	6	10
	9歳	133.5	133.5	16	135.1	秋田県	132.3	高知県、沖縄県	12	5
	10歳	138.8	139.1	12	140.4	秋田県	137.6	沖縄県	20	16
	11歳	145.0	145.6	8	146.6	青森県、秋田県	143.6	山口県	7	15
	12歳	152.3	152.9	9	154.3	秋田県	151.4	山口県、鹿児島県	15	14
	13歳	159.6	159.9	8	161.8	秋田県	158.5	広島県	7	13
	14歳	165.1	166.0	4	167.3	秋田県	164.0	鹿児島県	10	15
	15歳	168.3	168.4	18	169.6	青森県	166.7	愛媛県	20	8
	16歳	169.9	170.5	5	170.6	北海道、東京都、 富山県、徳島県	168.4	沖縄県	21	2
	17歳	170.7	171.3	6	171.9	青森県、鳥取県	169.2	沖縄県	9	5
女 子	5歳	109.5	109.4	25	110.2	青森県、群馬県、新潟県	108.7	長崎県	16	34
	6歳	115.6	115.9	8	116.5	秋田県	114.7	島根県	5	21
	7歳	121.6	121.6	16	123.0	秋田県	120.7	沖縄県	5	17
	8歳	127.4	127.4	20	128.9	秋田県	126.2	沖縄県	12	11
	9歳	133.5	134.1	5	135.4	秋田県	132.4	島根県、高知県	13	5
	10歳	140.2	141.0	5	142.4	秋田県	139.1	鹿児島県	22	10
	11歳	146.7	146.6	24	148.3	青森県	145.7	沖縄県	28	22
	12歳	151.9	152.4	7	152.9	秋田県	150.9	山口県	3	4
	13歳	155.0	155.6	3	156.3	秋田県	153.7	沖縄県	4	1
	14歳	156.6	157.1	3	157.4	秋田県	154.8	沖縄県	2	3
	15歳	157.1	156.8	27	158.1	京都府	155.8	沖縄県	9	9
	16歳	157.6	157.8	14	158.4	石川県	156.5	沖縄県	18	4
17歳	158.0	158.2	14	158.7	山形県、石川県	156.2	沖縄県	6	2	

イ 体 重

全国との比較では、男女ともほとんどの年齢で全国平均値を上回っているが、11歳では男女ともに全国平均値を下回っている。

全国における順位は、男子の17歳および女子の16歳が全国5位となっている。

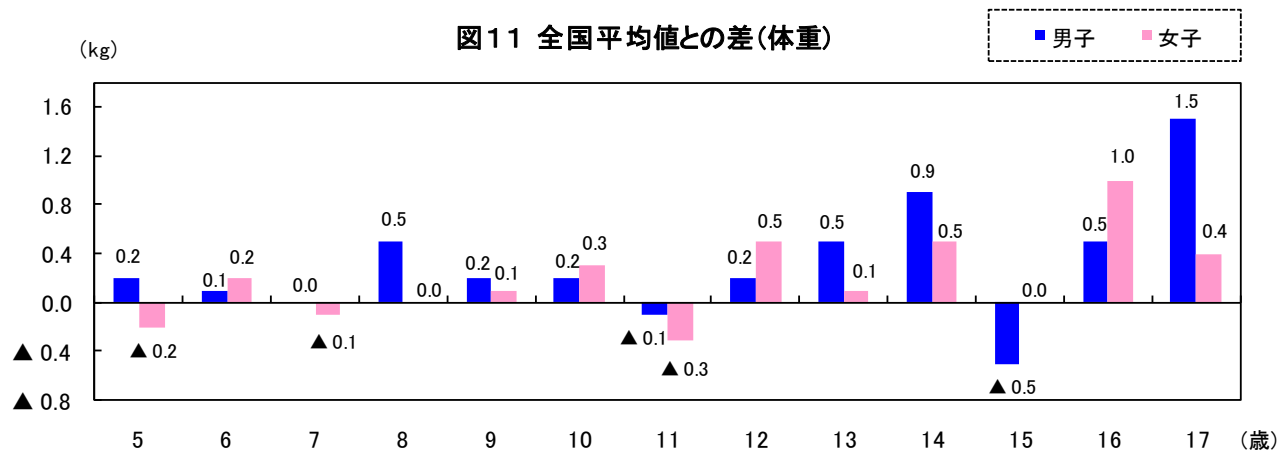


表7 本県の順位(体重)

(単位:kg、位)

区分		平成23年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		22年度	21年度
男 子	5歳	18.9	19.1	6	19.6	徳島県	18.5	鳥取県	15	29
	6歳	21.3	21.4	12	22.1	青森県	20.9	鹿児島県	8	12
	7歳	24.0	24.0	15	25.3	秋田県	23.4	長野県、京都府、 兵庫県、山口県	28	7
	8歳	27.0	27.5	8	28.8	山形県	26.3	兵庫県	11	10
	9歳	30.3	30.5	15	32.1	秋田県	29.6	愛知県	20	14
	10歳	33.8	34.0	18	36.1	青森県	32.9	大阪府、島根県、 鹿児島県	21	24
	11歳	38.0	37.9	20	40.6	青森県	36.3	山口県	13	23
	12歳	43.8	44.0	18	46.3	青森県、秋田県	42.7	兵庫県	16	22
	13歳	49.0	49.5	9	51.6	青森県、秋田県	47.1	滋賀県	20	23
	14歳	54.2	55.1	6	57.6	秋田県	52.7	山口県	20	24
	15歳	59.4	58.9	28	61.3	青森県	57.4	鹿児島県、沖縄県	24	26
	16歳	61.3	61.8	12	63.4	青森県、茨城県	59.6	沖縄県	6	9
	17歳	63.1	64.6	5	66.2	秋田県	61.5	山口県、愛媛県	26	20
女 子	5歳	18.5	18.3	33	19.2	青森県	18.1	静岡県、島根県	28	20
	6歳	20.8	21.0	9	21.5	大分県	20.4	兵庫県、島根県、 愛媛県	6	26
	7歳	23.4	23.3	25	24.7	秋田県	23.0	神奈川県、山梨県、 兵庫県	16	21
	8歳	26.4	26.4	15	27.5	青森県、秋田県	25.6	岐阜県	15	17
	9歳	29.8	29.9	23	32.0	青森県	29.1	静岡県、島根県	14	12
	10歳	34.0	34.3	14	36.0	秋田県	32.7	長野県	26	21
	11歳	38.8	38.5	31	41.4	青森県	37.8	神奈川県	24	14
	12歳	43.6	44.1	18	45.3	青森県	42.8	鳥取県	22	21
	13歳	47.1	47.2	21	49.2	秋田県	46.2	兵庫県	5	13
	14歳	49.9	50.4	10	51.9	秋田県	49.0	滋賀県	18	13
	15歳	51.4	51.4	27	53.4	秋田県	49.9	福岡県	13	17
	16歳	52.4	53.4	5	53.9	山形県	50.9	沖縄県	13	22
	17歳	52.8	53.2	17	54.5	茨城県	50.8	沖縄県	7	15

ウ 座高

全国との比較では、女子の5歳で全国平均値を下回っており、11歳では同値となっている。それ以外は男女ともすべての年齢で全国平均値を上回っている。

全国における順位は、男子の5歳が全国2位、女子の9歳が全国3位となっているほか、男女ともほとんどの年齢で上位にある。

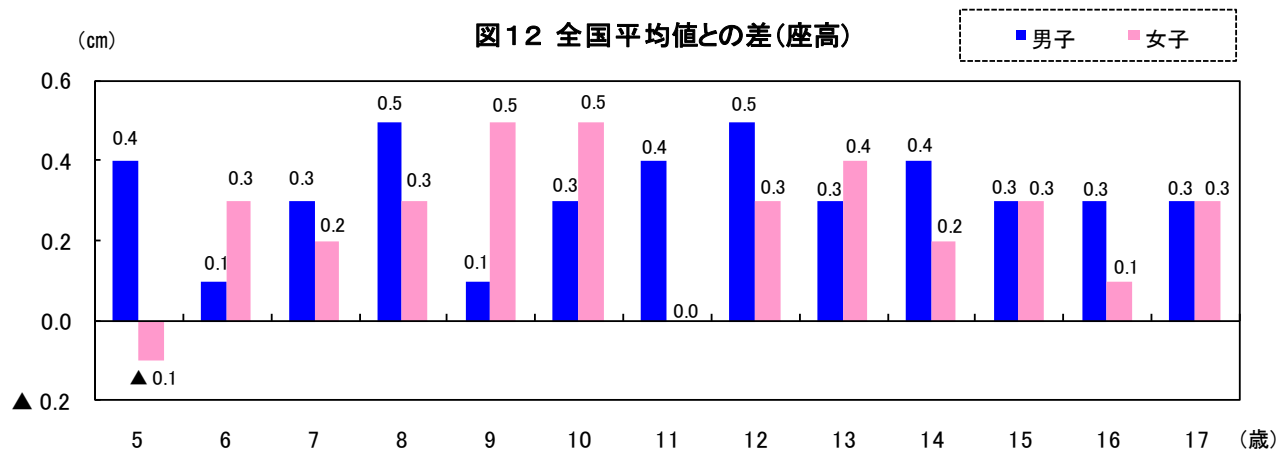


表8 本県の順位(座高)

(単位:cm、位)

区分		平成23年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		22年度	21年度
男 子	5歳	62.0	62.4	2	62.7	島根県	61.4	山梨県	12	35
	6歳	64.9	65.0	7	65.4	青森県、石川県	64.4	鹿児島県	2	3
	7歳	67.7	68.0	4	68.6	秋田県	67.1	山口県、沖縄県	23	3
	8歳	70.2	70.7	4	70.9	秋田県	69.4	沖縄県	3	3
	9歳	72.6	72.7	9	73.5	秋田県	71.9	沖縄県	4	2
	10歳	74.9	75.2	8	75.8	秋田県	74.1	沖縄県	8	9
	11歳	77.6	78.0	8	78.5	青森県、秋田県	76.9	沖縄県	3	10
	12歳	81.2	81.7	5	82.5	秋田県	80.8	兵庫県、山口県、香川県、徳島県、大分県、宮崎県	13	13
	13歳	84.9	85.2	8	86.2	秋田県	84.4	広島県、大分県	6	10
	14歳	88.1	88.5	5	89.4	秋田県	87.4	宮崎県	15	12
	15歳	90.3	90.6	11	91.1	青森県	89.4	沖縄県	7	7
	16歳	91.3	91.6	8	92.0	富山県	90.8	栃木県、沖縄県	3	2
	17歳	91.9	92.2	10	92.6	鳥取県	91.2	広島県、沖縄県	5	9
女 子	5歳	61.4	61.3	29	62.0	新潟県	60.8	鹿児島県	11	30
	6歳	64.4	64.7	4	65.0	秋田県、石川県	64.0	宮崎県	2	4
	7歳	67.2	67.4	8	67.9	秋田県	66.7	山口県	2	6
	8歳	69.9	70.2	4	70.6	秋田県	69.2	沖縄県	9	7
	9歳	72.7	73.2	3	73.8	秋田県	72.1	長野県	6	2
	10歳	75.9	76.4	4	77.1	秋田県	75.4	長野県、鹿児島県	12	9
	11歳	79.2	79.2	23	80.1	青森県	78.8	神奈川県、熊本県	20	13
	12歳	82.1	82.4	8	83.1	青森県	81.6	岡山県、山口県、香川県	8	5
	13歳	83.9	84.3	4	84.9	秋田県	83.3	沖縄県	2	2
	14歳	84.9	85.1	7	85.6	秋田県	84.1	沖縄県	2	3
	15歳	85.4	85.7	8	86.1	青森県	84.6	宮崎県、沖縄県	4	10
	16歳	85.6	85.7	15	86.2	鳥取県	84.7	茨城県	3	4
	17歳	85.8	86.1	6	86.5	滋賀県	85.1	大分県、沖縄県	1	3

2 健康状態調査

(1) 疾病・異常等の状況

平成23年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の疾病・異常等の状況は表9のとおりである。

表9 健康状態調査結果表

平成23年度（単位：％）

区 分		合計				男子				女子				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
裸眼視力	計（1.0未満）	X	33.8	61.3	—	X	31.6	57.7	—	X	36.0	65.1	—	
	1.0未満～0.7以上	X	11.2	8.4	—	X	10.2	8.9	—	X	12.2	7.8	—	
	0.7未満～0.3以上	X	13.2	17.4	—	X	12.6	17.9	—	X	13.8	17.0	—	
	0.3未満	X	9.4	35.5	—	X	8.8	30.9	—	X	10.0	40.4	—	
眼の疾病・異常		2.8	2.2	2.8	1.7	2.1	2.2	3.3	2.1	3.5	2.1	2.4	1.3	
難 聴		…	0.5	0.3	0.3	…	0.5	0.3	0.3	…	0.4	0.3	0.3	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	1.7	1.7	1.9	0.3	2.0	1.8	2.2	0.3	1.4	1.7	1.6	0.3	
	鼻・副鼻腔疾患	3.2	10.2	10.5	8.5	3.3	11.9	12.4	9.3	3.0	8.4	8.6	7.6	
	口腔咽喉頭疾患・異常	1.8	2.6	0.5	0.8	2.3	2.8	0.4	0.7	1.2	2.3	0.6	0.9	
歯・口腔	むし歯	計	52.1	69.2	58.6	67.2	X	70.6	57.5	62.6	52.3	67.7	59.7	72.0
		処置完了者	16.0	33.6	30.8	40.2	X	34.7	29.5	34.0	16.2	32.6	32.2	46.8
		未処置歯のある者	36.1	35.5	27.7	26.9	X	35.9	27.9	28.5	36.0	35.1	27.5	25.2
	歯列・咬合	2.0	3.6	3.8	6.1	0.9	3.3	3.7	6.5	3.2	3.8	4.0	5.6	
	顎関節	0.1	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	
	歯垢の状態	0.3	3.1	4.8	4.3	0.4	3.7	5.8	5.7	0.2	2.4	3.8	2.8	
	歯肉の状態	0.1	2.0	5.3	3.9	0.1	2.2	5.9	4.8	—	1.7	4.7	3.0	
	その他の疾病・異常	1.2	7.3	4.2	0.7	2.0	7.4	4.7	0.8	0.3	7.2	3.8	0.6	
（平均むし歯数） （永久歯のむし歯数）	計（本）	…	…	1.7	…	…	…	1.6	…	…	…	1.8	…	
	喪失歯数（本）	…	…	0.0	…	…	…	0.0	…	…	…	0.0	…	
	計（本）	…	…	1.7	…	…	…	1.6	…	…	…	1.8	…	
	処置歯数（本）	…	…	1.1	…	…	…	1.0	…	…	…	1.1	…	
	未処置歯数（本）	…	…	0.6	…	…	…	0.6	…	…	…	0.7	…	
栄養状態		0.2	1.8	1.0	2.6	0.3	2.3	1.0	2.9	—	1.4	0.9	2.4	
せき柱・胸郭		0.1	0.1	0.2	0.6	0.2	0.2	0.1	0.4	0.1	0.1	0.3	0.8	
皮膚患	アトピー性皮膚炎	6.1	6.8	5.4	6.4	6.7	7.3	5.3	6.4	5.5	6.2	5.4	6.4	
	その他の皮膚疾患	—	0.5	0.3	0.3	—	0.7	0.2	0.2	—	0.2	0.3	0.3	
結 核		…	—	0.0	—	…	—	0.0	—	…	—	—	—	
結核に 関する 検診	委員会での検診を必要とする者	…	0.4	0.5	…	…	0.4	0.4	…	…	0.3	0.6	…	
	結核の精密検査の対象者	…	0.2	0.0	…	…	0.2	0.0	…	…	0.1	0.0	…	
心臓の疾病・異常		0.5	0.8	0.6	0.8	0.3	0.8	0.6	0.7	0.6	0.8	0.6	0.8	
心電図異常		…	1.2	1.5	1.3	…	1.2	1.6	1.3	…	1.2	1.5	1.2	
たばく検出の者		—	0.2	2.2	2.7	—	0.1	2.6	3.7	—	0.3	1.7	1.7	
尿糖検出の者		…	0.0	0.2	0.2	…	0.0	0.3	0.2	…	0.0	0.2	0.2	
寄生虫卵保有者		—	0.2	…	…	—	0.3	…	…	—	0.2	…	…	
疾そ 病の 異常の	ぜん息	3.2	4.0	2.9	2.7	4.6	5.0	3.3	3.2	1.8	3.0	2.4	2.2	
	腎臓疾患	—	0.1	0.2	0.3	—	0.1	0.2	0.3	—	0.1	0.2	0.2	
	言語障害	—	0.1	0.1	0.1	—	0.1	0.1	0.1	—	0.1	0.1	0.1	
	その他の疾病・異常	1.0	1.7	2.3	3.5	1.0	1.8	1.9	3.0	1.1	1.7	2.7	4.0	

(注) 1 この表は健康診断受検者のうち、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者）の占める割合を示したものである。

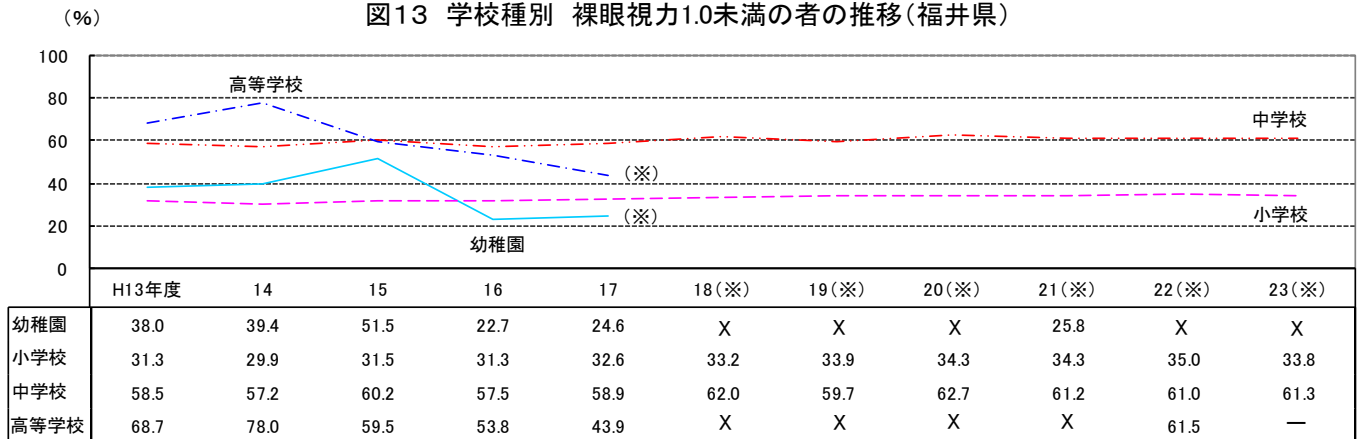
2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。

(2) 主な疾病・異常等の推移

ア 裸眼視力1.0未満の者

裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校で33.8%、中学校で61.3%となっており、小学校は前年度より減少し、中学校については前年度より増加している。(※幼稚園の平成18年度から平成20年度および平成22、23年度、高等学校の平成18年度から平成21年度については未公表。高等学校の平成23年度については、調査対象となる受検者がいなかったため、該当者なし。)平成13年度以降の推移をみると、小学校、中学校ともに横ばいで推移している。

図13 学校種別 裸眼視力1.0未満の者の推移(福井県)



※幼稚園のH18～20およびH22～23、高等学校のH18～21は未公表。高等学校のH23は調査対象となる受検者がいなかったため該当者なし。

全国平均と比較すると、平成13年度(10年前)はすべての学校区分、平成23年度は小学校および中学校で全国平均値を上回っている。

表10 全国平均値との比較(裸眼視力1.0未満の者の割合)

(単位:%)

区 分	平成13年度								平成23年度							
	福井県				全国				福井県				全国			
	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者	裸眼視力 1.0 未満 の 者	う ち 0.7以上 1.0未満 の 者	う ち 0.3以上 0.7未満 の 者	う ち 0.3 未満 の 者
幼稚園	38.0	26.3	11.2	0.6	27.2	19.9	6.8	0.5	X	X	X	X	25.5	19.1	5.8	0.6
小学校	31.3	10.9	11.5	8.9	25.4	10.3	9.6	5.5	33.8	11.2	13.2	9.4	29.9	10.6	11.3	8.0
中学校	58.5	10.3	18.3	30.0	48.2	11.2	16.3	20.7	61.3	8.4	17.4	35.5	51.6	11.8	17.5	22.3
高等学校	68.7	10.2	19.0	39.6	60.3	11.1	16.1	33.2	—	—	—	—	60.9	11.4	16.1	33.4

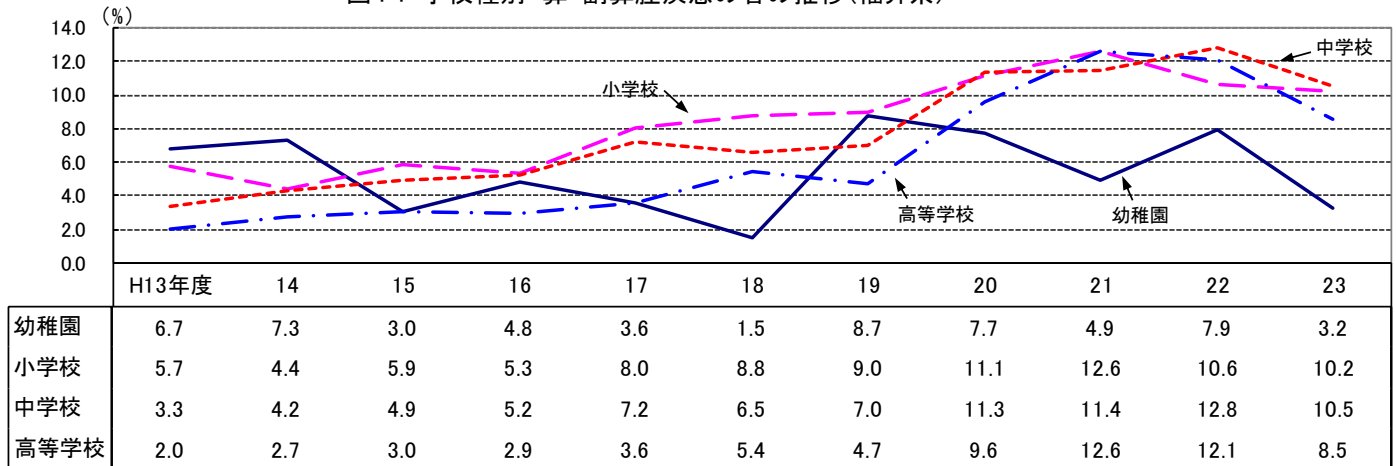
※福井県平成23年度の幼稚園の調査結果は未公表。同じく高等学校は調査対象となる受検者がいなかったため該当者なし。四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

イ 鼻・副鼻腔疾患の者

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合は、幼稚園で3.2%、小学校で10.2%、中学校で10.5%、高等学校で8.5%となっており、すべての学校区分で前年度に比べて減少している。

平成13年度以降の推移をみると、平成19年度から平成21年度にかけて増加傾向にあったが、平成22年度以降は減少傾向にある。

図14 学校種別 鼻・副鼻腔疾患の者の推移(福井県)



全国平均と比較すると、平成13年度（10年前）は、小学校、中学校および高等学校で全国平均値を下回っていたが、平成23年度は、すべての学校区分で全国平均値を下回っている。

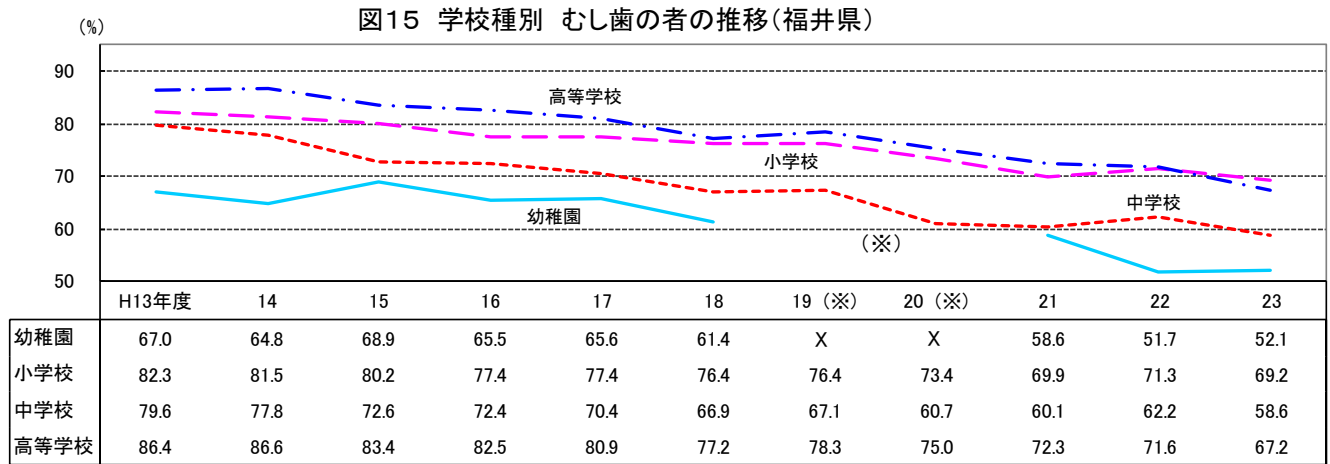
表11 全国平均値との比較(鼻・副鼻腔疾患の者の割合)

(単位:%)

区 分	平成13年度		平成23年度	
	福井県	全国	福井県	全国
幼稚園	6.7	3.2	3.2	4.4
小学校	5.7	10.7	10.2	12.5
中学校	3.3	9.0	10.5	11.8
高等学校	2.0	7.4	8.5	8.8

ウ むし歯（う歯）の者

むし歯の者の割合（処置完了者を含む）は、幼稚園で52.1%、小学校で69.2%、中学校で58.6%、高等学校で67.2%となっている。幼稚園は前年度より増加し、小学校、中学校および高等学校については前年度より減少している。（※幼稚園の平成19、20年度については未公表。）平成13年度以降の推移をみると、すべての学校区分で減少傾向にある。



※幼稚園のH19.20は未公表。

全国平均と比較すると、平成13年度（10年前）および平成23年度ともに、すべての学校区分で全国平均値を上回っている。

表12 全国平均値との比較(むし歯の者の割合)

(単位:%)

区 分	平成13年度						平成23年度					
	福井県			全国			福井県			全国		
	計	者処置完了の	ある未処置者の	計	者処置完了の	ある未処置者の	計	者処置完了の	ある未処置者の	計	者処置完了の	ある未処置者の
幼稚園	67.0	25.1	41.9	61.5	23.4	38.1	52.1	16.0	36.1	43.0	16.9	26.0
小学校	82.3	38.4	43.9	75.6	36.4	39.2	69.2	33.6	35.5	57.2	28.7	28.6
中学校	79.6	48.8	30.8	73.8	41.2	32.6	58.6	30.8	27.7	48.3	26.8	21.6
高等学校	86.4	53.4	33.0	83.7	48.7	34.9	67.2	40.2	26.9	58.5	32.2	26.2

四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

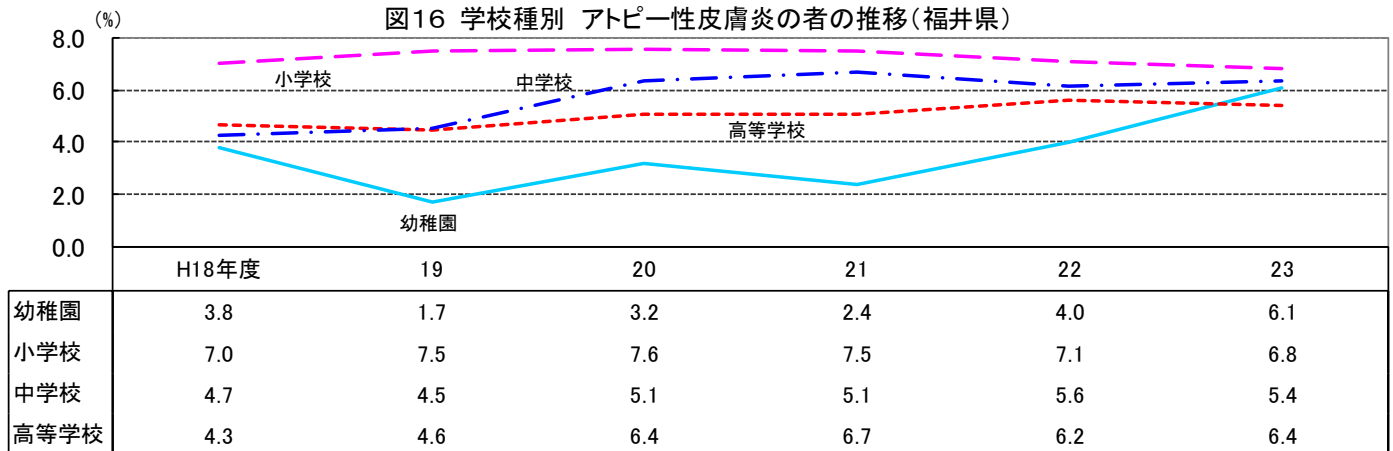
表13 永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)本数の推移(12歳のみ調査)

(単位:本)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
福井県	2.1	1.7	1.7	2.0	1.7
全 国	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2

エ アトピー性皮膚炎の者（平成18年度調査から集計対象）

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園で6.1%、小学校で6.8%、中学校で5.4%、高等学校で6.4%となっている。幼稚園、高等学校は前年度より増加し、小学校、中学校については前年度より減少している。



全国平均と比較すると、平成18年度（5年前）は、幼稚園で全国平均値と同値、小学校、中学校および高等学校で全国平均値を上回っていたが、平成23年度は、すべての学校区分で全国平均値を上回っている。

表14 全国平均値との比較(アトピー性皮膚炎の者の割合)

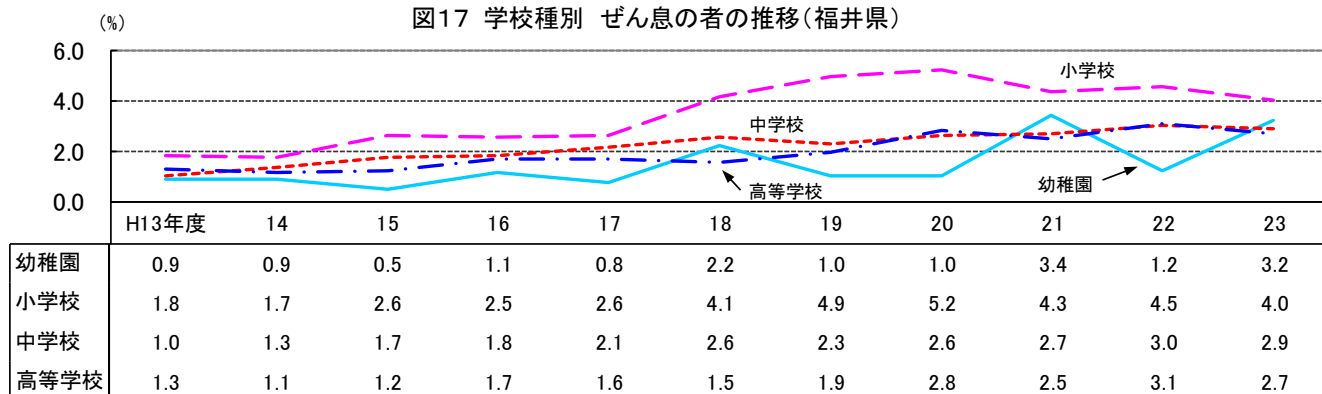
(単位：%)

区 分	平成18年度		平成23年度	
	福井県	全国	福井県	全国
幼稚園	3.8	3.8	6.1	2.9
小学校	7.0	3.6	6.8	3.3
中学校	4.7	2.8	5.4	2.4
高等学校	4.3	2.3	6.4	2.1

オ ゼン息の者

ぜん息の者の割合は、幼稚園で3.2%、小学校で4.0%、中学校で2.9%、高等学校で2.7%となっている。幼稚園は前年度より増加し、小学校、中学校、高等学校については前年度より減少している。

図17 学校種別 ゼン息の者の推移(福井県)



全国平均と比較すると、平成13年度は、高等学校で全国平均値と同値、幼稚園、小学校および中学校で全国平均値を下回っているが、平成23年度は、幼稚園、中学校および高等学校で全国平均値を上回っている。

表15 全国平均値との比較(ぜん息の者の割合)

(単位:%)

区分	平成13年度		平成23年度	
	福井県	全国	福井県	全国
幼稚園	0.9	1.3	3.2	2.8
小学校	1.8	2.5	4.0	4.3
中学校	1.0	1.9	2.9	2.8
高等学校	1.3	1.3	2.7	1.9

3 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

(1) 肥満傾向の者

肥満傾向児の出現率は、男女とも年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、男子は15歳で11.6%と最も高くなり、女子は17歳で9.5%と最も高くなっている。

全国との比較では、男子では10歳と13歳、女子では6歳、16歳および17歳で全国平均値を上回っている。それ以外の年齢では全国平均値を下回っている。

図18 肥満傾向児の出現率(全国平均値との比較)

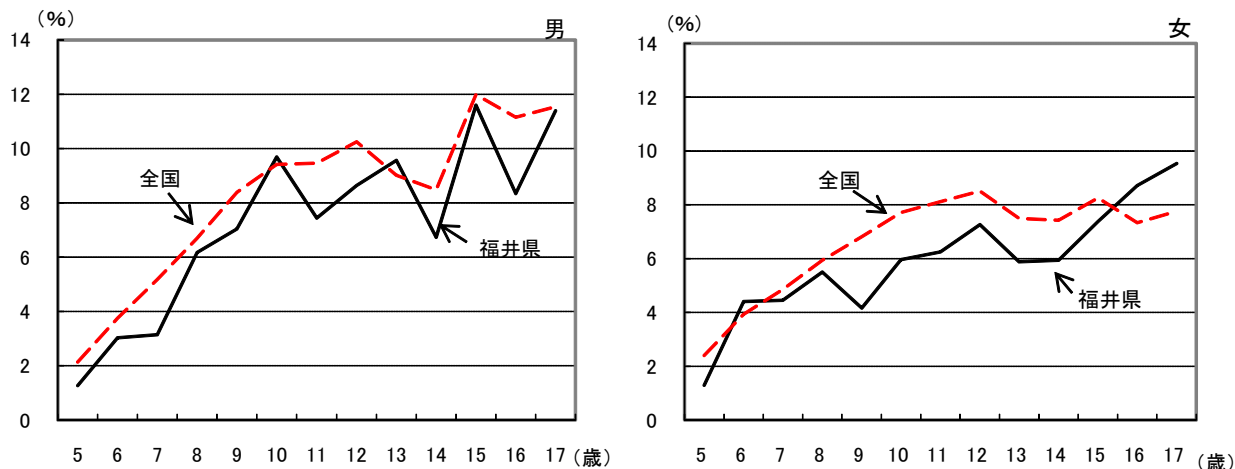


表16 全国平均値との比較(肥満傾向児の出現率)

平成23年度(単位%)

区 分	男 子			女 子			
	福井県 a	全 国 b	差 (a - b)	福井県 a	全 国 b	差 (a - b)	
幼稚園	5歳	1.3	2.1	▲ 0.9	1.3	2.4	▲ 1.1
	6歳	3.0	3.8	▲ 0.7	4.4	3.9	▲ 0.5
小学校	7歳	3.1	5.2	▲ 2.0	4.5	4.9	▲ 0.4
	8歳	6.2	6.7	▲ 0.5	5.5	5.9	▲ 0.4
	9歳	7.0	8.4	▲ 1.4	4.2	6.8	▲ 2.7
	10歳	9.7	9.4	▲ 0.3	6.0	7.7	▲ 1.8
中学校	11歳	7.4	9.5	▲ 2.0	6.2	8.1	▲ 1.9
	12歳	8.6	10.3	▲ 1.6	7.3	8.5	▲ 1.3
	13歳	9.6	9.0	▲ 0.6	5.9	7.5	▲ 1.6
	14歳	6.7	8.5	▲ 1.8	5.9	7.4	▲ 1.5
高等学校	15歳	11.6	12.0	▲ 0.4	7.4	8.3	▲ 0.9
	16歳	8.3	11.2	▲ 2.8	8.7	7.3	▲ 1.4
	17歳	11.4	11.5	▲ 0.1	9.5	7.8	▲ 1.8

(注)四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

(2) 瘦身傾向の者

瘦身傾向児の出現率は、男子は11歳が4.3%で最も高く、女子は12歳が4.2%で最も高くなっている。

全国との比較では、男子はほとんどの年齢で全国平均値を上回っているが、女子はほとんどの年齢で全国平均値を下回っている。

図19 瘦身傾向児の出現率(全国平均値との比較)

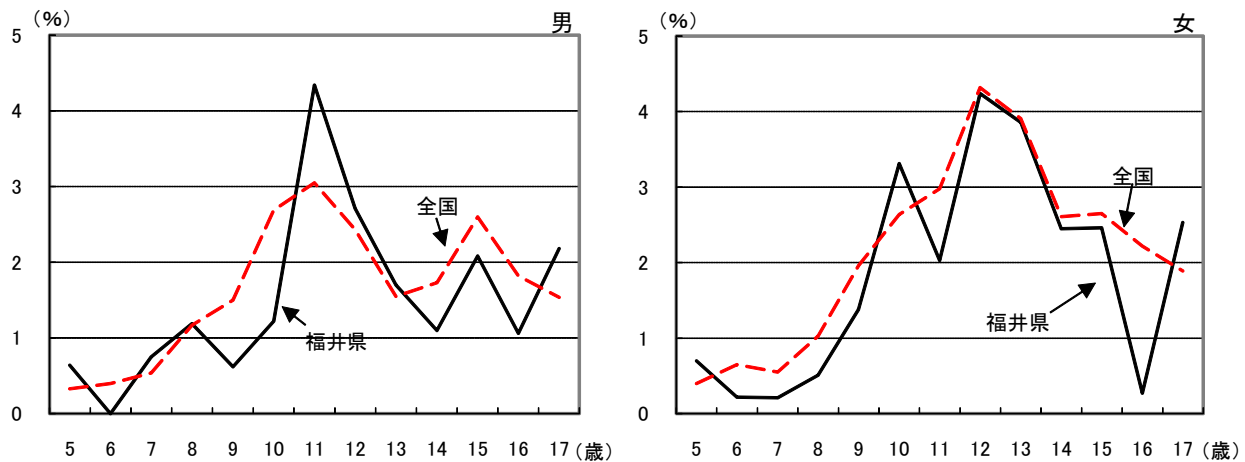


表17 全国平均値との比較(瘦身傾向児の出現率)

平成23年度(単位%)

区 分		男 子			女 子		
		福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	0.6	0.3	0.3	0.7	0.4	0.3
	6歳	-	0.4	-	0.2	0.7	▲ 0.4
小学校	7歳	0.8	0.5	0.2	0.2	0.6	▲ 0.3
	8歳	1.2	1.2	0.0	0.5	1.0	▲ 0.5
	9歳	0.6	1.5	▲ 0.9	1.4	2.0	▲ 0.6
	10歳	1.2	2.7	▲ 1.5	3.3	2.6	0.7
中学校	11歳	4.3	3.1	1.3	2.0	3.0	▲ 1.0
	12歳	2.7	2.4	0.3	4.2	4.3	▲ 0.1
	13歳	1.7	1.6	0.2	3.9	3.9	▲ 0.1
	14歳	1.1	1.7	▲ 0.6	2.5	2.6	▲ 0.2
高等学校	15歳	2.1	2.6	▲ 0.5	2.5	2.7	▲ 0.2
	16歳	1.1	1.8	▲ 0.8	0.3	2.2	▲ 2.0
	17歳	2.2	1.5	0.6	2.5	1.9	0.6

(注)四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。

【参考】肥満傾向児・痩身傾向児の算出方法について

以下の式により、性別・年齢別に身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度（過体重度）が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児とする。

$$\text{肥満度（過体重度）} = \left[\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)} \right] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重の求め方
(係数 a, b は表を参照)

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339

